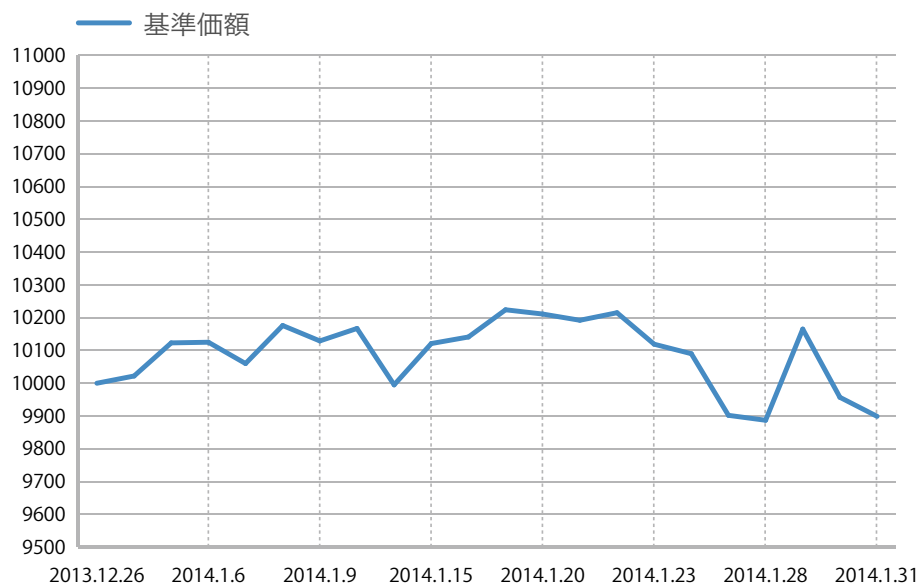




基準日 2014 年 1 月 31 日付

基準価額の推移



ファンド概況

基準価額	9,899円
純資産総額	451百万円
受益権総口数	456百万口

ポートフォリオ組入状況(マザーファンド)

組入銘柄数	50
純資産総額	452百万円
株式等組入比率	96.0%
キャッシュ等	4.0%

騰落率

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
▲2.21%					▲1.01%

運用の特色

①5～10年の中期的な視点で【変化】を捉えます

”変化し始めた企業”、”変化にチャレンジする企業”を中心に株価が割安と判断した企業に投資をします。

②50銘柄程度に厳選投資を行います

当ファンドでは50銘柄程度に厳選投資を行います。大型株から小型株までを投資対象とします。一方で、50銘柄程度あれば分散効果も十分得られると考えています。

※ボトムアップ・アプローチを重視し、ベンチマークは設けません。

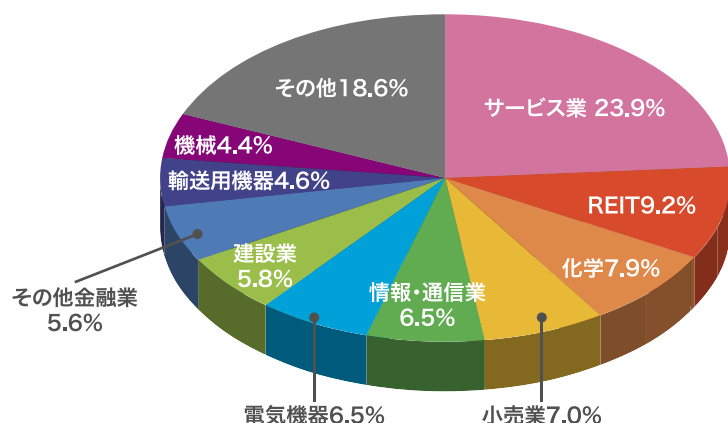
③収益を狙うタイミングと、リスクを回避するタイミングをコントロールします

市場の下落リスクなどにに基づき、株式組入比率を上げて積極的に収益を狙うタイミングと、現金等の比率を上げてリスクを回避するタイミングをコントロールすることを目指します。

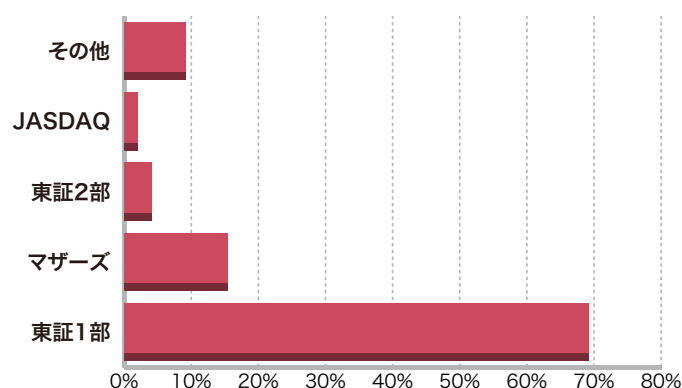
※株式への投資は、信託財産の50%超(100%～30%の範囲内)を基本とします。

基準日 2014年1月31日付

業種別構成比率



市場別構成比率



- 比率は組入有価証券を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

組入上位5社

(2013年12月30日現在)

企業名[コード]	市場	業種	比率
ペプチドリーム[4587]	マザーズ	医薬品	2.69%
パソナ[2168]	東証1部	サービス業	2.66%
クラリオン[6796]	東証1部	電気機器	2.62%
レオパレス21[8848]	東証1部	不動産業	2.61%
セブン&アイ[3382]	東証1部	小売業	2.54%

組入上位5社の紹介

(2013年12月30日現在)

企業名 [コード]	概要
ペプチドリーム [4587]	ペプチドリームは、国内外の大手製薬企業との共同研究開発のもと、医薬品候補物質を創製することを主たる事業とする創業ベンチャー。2006年7月設立で、独自の創薬開発プラットフォームを活用して、特殊ペプチド医薬に特化した事業を展開。
パソナ [2168]	人材派遣業界でリーディングカンパニー的存在。事務職から高度な専門スキルを備えたスタッフや技術者、営業・販売職などあらゆる業界のあらゆる職種に対応。「年齢や性別に関わらず、それぞれのライフスタイルに合わせた働き方のできる社会」の実現を目指している。
クラリオン [6796]	日立製作所グループの一員で、主要製品は、カーナビゲーション、カーオーディオ、車載用カメラ、映像機器。車載情報機器メーカーから、車両情報システムプロバイダーへと既に方向転換し、事業の付加価値の向上に取り組んでいる。
レオパレス21 [8848]	単身者向けを中心にアパートを建築する「建築請負事業」、建築後のアパートを運営する「賃貸事業」の2つをコア事業とする不動産会社。「賃貸事業」の収益性強化により、収益を安定的に獲得することができるストック型ビジネスモデルの構築を推進中。
セブン&アイ [3382]	コンビニエンスストア事業の「セブンイレブン」を中核に、総合スーパー事業の「イトーヨーカ堂」、金融サービス事業の「セブン銀行」など多彩な事業を展開する。ネットで買い物をする消費者の増加を受け、ネットとリアル店舗の融合、「オムニチャネル化」を推進。

- 組入上位5社については、開示基準日がその他の情報と異なります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。
- 比率は純資産総額を100%として計算しております。

市場概況と運用状況

●市場環境

1月の日本株は、昨年末に急ピッチで上昇した反動から下落してスタート、アルゼンチンペソの急落をきっかけに新興国経済への不安等から下落基調となり、日経平均は月間▲8.45%の下落。東証株価指数(TOPIX)も月間▲6.27%下落となりました。

月初は、円安一服などにより、昨年末にかけて大きく上昇した銘柄を中心に利益確定売りが膨らみました。中旬は、米国景気や円相場を睨んだ荒い値動きが続き一進一退の展開となりました。円高・ユーロ安が進み、業績改善を見込みにくい欧州関連企業など主力株を中心に利益確定売りが入りました。下旬は、中国景気の先行指標である中国製造業購買担当者景気指数(PMI)の悪化や理財商品(主に中国において取引される高利回りの資産運用商品)が債務不履行となる懸念や、アルゼンチンペソ急落から、経常赤字の大きなアジアなど新興国経済への警戒感が広まり、株価が下落しました。アルゼンチン中央銀行の為替介入や新興国(インド、トルコ、南アフリカ)の利上げなどにより、新興国経済への不安感は一時的に後退しましたが、30日に、米国の中央銀行に当たるFRB(連邦準備制度理事会)が金融緩和策縮小の継続を決定すると、再び新興国への不安が強まり下落傾向となり、1月を終えました。

指数別で見ると、東証2部(+3.05%)や日経JASDAQ平均(+2.40%)などの中小型が上昇。TOPIX規模別で見ても、スモール(▲2.75%)が健闘しました。業種別株価指数の騰落率上位3位は、空運業、医薬品、サービス業。同下位3位は、不動産業、その他金融業、保険業でした。なお、33業種のうち1業種のみ上昇しました。

●投資行動とパフォーマンス

◎2013年12月27日(設定日)～2013年12月30日(月末・大納会)

・新規募集により、228名の皆様からお預かりした大切なお金は3億3792万4851円でした。

・ファンド設定日である昨年12月27日に株式等を新規に買い付けました。

①新規組入れ銘柄数はお約束していたとおり、頑張って50銘柄買い付けました。

②買付金額(受渡金額)の総額は2億6887万円となりました。内訳は、国内株式2億5347万円、不動産リート1540万円です。株式等組入比率は79.6%でスタートしました。

③初めての基準価額は10022円となりました(当初募集価額は10000円)。

・設定日2日目の12月30日(月末・大納会)には株式等をさらに買い付けました。

①株式等組入比率は84.6%まで引き上げ、12月を終えました。

②2日間でポートフォリオの構築は、ほぼ終了しました。

・12月末の基準価額は10123円となりました(当初募集価額は10000円)。

◎2014年1月6日(月初)～2014年1月31日(月末)

・1月末の組入銘柄数は前月末と同じ50銘柄となっています。

・ファンド購入による資金流入(入金)に伴い、日々、株式等をこまめに買い続けました。

・株式等組入比率は概ね90%前後をキープ、月末の同比率は96.0%となっています。

・内訳は、国内株式組入比率87.1%、不動産リート組入比率8.9%です。

・1月末の基準価額は9899円となりました(12月末価額は10123円)。

・ファンドの月間リターンは▲2.21%の下落となりました。参考指標として、同月のTOPIXは▲6.27%の下落、日経平均は▲8.45%の下落となっています。

・なお、ファンドの設定来リターンは▲1.01%の下落となりました。参考指標として、同期間のTOPIXは▲4.59%の下落、日経平均は▲7.79%の下落となっています。

2014年2月4日 運用部長 糸島 孝俊

メディア掲載

日付	掲載メディア	ニュース
1月11日	テレビ東京	「マネーの羅針盤」に糸島がコメンテーターとして出演しました。
1月17日	日経新聞朝刊	「わかる財務 見えざる資産の素顔⑥」で、コモンズ流「見えざる資産に基づいた投資先選定基準」に関する伊井の話が紹介されました。
1月21日～23日	日経CNBC	「ラップトゥデイ」に糸島がコメンテーターとして出演しました。
1月23日	日経新聞 (名古屋支社版)朝刊	2013「中部地区個人投資家向け会社説明会」における渋澤の基調講演「投資においては「時間＝資源」です」が掲載されました。
1月25日	朝日新聞朝刊	「注目の独立系運用会社 斬新なアイデアや思いで勝負」でコモンズ投信が紹介されました。



テレビ東京「マネーの羅針盤」に出演した際の運用部長・糸島と塩田アナウンサー

セミナー案内

セミナー名	日付	時間	場所
草食投資隊のタベ	2月13日(木)	19:30～21:30	東京都港区
コモンズくつろぎバー	2月19日(水)	18:00～20:00	コモンズ投信オフィス
はじめてのコモンズ(主に初級者向け)	2月22日(土)	14:00～16:00	コモンズ投信オフィス
新ファンド「ザ・2020ビジョン」セミナー	2月26日(水)	19:00～21:00	東京都中央区
30塾 コモンズ30ファンド投資先企業から学ぶ 第2回「女性の活躍セミナー」	3月12日(水)	19:00～21:00	東京都千代田区

※セミナーの詳細、お申し込みは弊社ウェブサイトまたはコールセンターからお願いいたします。

<http://www.common30.jp/seminar/schedule> 03-3221-8730 (コールセンター、平日午前9時～午後5時受付)

ザ・2020ビジョンファンドの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年 1.2075%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。 なお、運用実績における基準価額は、信託報酬控除後のものです。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の 0.105%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

ザ・2020ビジョンファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込みメモ

信託設定日	平成25年12月27日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
決算日	原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日とします。)
収益分配	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込受付日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額とします。
換金代金の 支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。

お問い合わせ先

■ コールセンター（受付時間／平日 9時～17時）

03-3221-8730

■ メール

commons-call@commons30.jp

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第 2061 号
加入協会 一般社団法人投資信託協会

コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階